

YACかわら版687

2026年3月2日

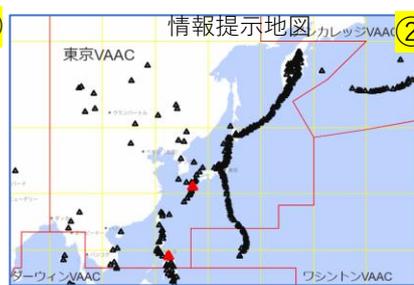
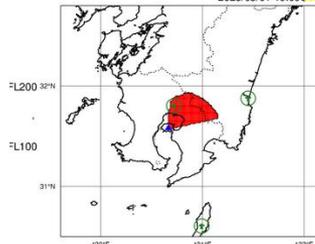
定時拡散・降灰予測

東京

VAAC 2

マヨン

桜島



最新の航空路火山灰情報

更新時刻: 2026/03/01 10:00

火山名	情報番号	UTC 現象時刻	発表時刻
マヨン	2026/239	2026-03-01 09:12Z	2026-03-01 09:30Z
桜島	2026/19	2026-03-01 05:20Z	2026-03-01 05:50Z

3月1日20時東京VAAC情報サイトに接続しました。
2件の航空路火山灰情報があります。

どちらもひまわり9が情報源です。

<https://ds.data.jma.go.jp/svd/vaac/data/indexj.html>

観測時刻はコペルニクスブラウザからデータをダウンロードし「MTD TL」ファイルからよみとり。

センチネル2C
2026-03-01T02:08:37Z



東京VAAC→20260301/0550Z	火山 桜島 282080 (AIRA CALDERA)
火山 マヨン 273030	情報番号:2026/19
情報番号:2026/239	情報源: HIMATARI-9
情報源: HIMATARI-9	

3月1日に桜島周辺をセンチネル2Cが観測しています。

観測時刻頃のライブカメラ画像と比較できます。

1月と2月の59日間で東京VAACは353回航空路火山灰情報を出しています。マヨンは237回、桜島が17回です。

活発な火山活動をしているマヨン火山を、2月27日にセンチネル2Bが観測しています。コペルニクスブラウザトゥルーカラー+赤外レイヤーでは、高温の火砕流がはっきりと確認できます。夜間のマヨン火山の火砕流も観測されています。

画面の「DOST-PHIVOLCS (フィリピン火山地震研究所)」は政府機関名で、地震、火山活動、津波の監視・調査・予報を行っています。

本号では、外国の火山活動を、世界を9地域に分けて設置してあるVAACの1つである、東京VAACを探りました。

VAAC情報→火山位置→コペルニクスブラウザ・各地の研究機関

他のVAACを手掛かりに衛星データを活用しませんか。

溶岩流。小規模な噴火
降灰

25回の火山性地震、
18回の火砕流

二酸化硫黄噴出
2327トン/日
桜島2月2日2200トン
2月19日1400トン

禁止する

半径6キロメートルの永久危険地帯に入る
火山上空を飛行機で飛行する

マヨン火山 24時間観測概要
2026年3月2日 午前0時
マヨン火山

<https://wvovodat.phivolcs.dost.gov.ph/bulletin/ac/tvity-mvo?bid=13640>

